

献 辞

角森正雄先生は、2022年3月をもって神戸学院大学を定年で退職され、同年4月より神戸学院大学名誉教授となりました。

角森先生は広島県にお生まれになり、1980年3月に大阪大学大学院法学研究科博士前期課程を修了後、同年4月に富山大学経済学部助手に就任され、同大学講師、助教授、教授を経て、2004年4月に本学法学部教授として着任されました。以後18年間にわたり本学ならびに法学部の発展のために力を尽くしてられました。

角森先生は、民事訴訟法の研究に取り組まれ、教育においては現実社会との連関を強く意識して学生を啓発されてきました。先生の実践教育に関し特筆すべきものとして、法廷教室を用いた公開模擬裁判が挙げられます。これは、「明石歩道橋事故損害賠償請求事件」や「石綿被害国家賠償請求事件」など社会の注目を集めた数々の民事事件をベースとして、ゼミの学生に「役割」を与えてそれぞれの役割に応じた法的議論を自ら構築させるものであり、法学を単なる知識としてではなく、活きた知恵として修得させるものです。このような体験型の教育をおこなうのは、きわめて大きな労力を要しますが、角森先生は本学のゼミにおいては、着任初年度から公開模擬裁判を開催されるとともに、2010年代半ば以降は兵庫県立神戸鈴蘭台高校との高大連携授業や公開講座「KOBE こども大学」においても体験型の教育を継続的に実践され、活きた学びを若い世代に提供することに情熱を注いでられました。

また、角森先生は、2013年4月から2017年3月まで法学部長、2019年4月から2022年3月まで副学長に就かれるなど大学運営・学部運営にも大いにお力を発揮してくださいました。本学の置かれた状況を的確に把握し、バランス感覚に優れたかじ取りをされ、大学および学部の持続的な成長を導いてられたことに、あらためて深く感謝申し上げます。

角森先生の多大なご貢献に敬意を表しますとともに、今後の先生のご健勝とますますのご活躍を祈念し、謹んで本号を献呈させていただきます。

法学部長 笹 川 明 道